

中学校・高等学校の免許外教科担任の現状

中山 泰一

電気通信大学

nakayama@uec.ac.jp

筆者らは、これまでに、都道府県教育委員会における中学校・高等学校の免許外教科担任の許可の状況を調査してきた。本稿では、2017年度の中学校・高等学校の免許外教科担任の状況を、公文書公開手続きを用いて調査した結果を報告する。中学校では技術・家庭科が、高等学校では情報科が、他の教科に比べて免許外教科担任が突出して多用されている状況である。

1. まえがき

2020年から小学校でプログラミングが導入される。2022年からの高等学校情報科は、情報の科学的な理解に重点を置き「情報Ⅰ」(2単位)を必修科目とした上で、その発展的内容として「情報Ⅱ」(2単位)を選択科目とすることになっている。

また、2017年5月17日に開催された内閣官房日本経済再生本部第16回未来投資会議で「情報Ⅰ」を大学入学共通テストの科目として出題する方針が示された。情報入試の導入に向けての手続きがすすむことが期待される状況になってきた[1]。

高等学校において情報科の教員として生徒を教えるためには、情報学全般についての幅広い知識や技術が求められる。しかしながら、現状は、必ずしも、情報学についての幅広い知識や技術をもつ者が、情報科の教科担任となっているわけではない。これまでに筆者らは、情報科の教科担任の現状を、公文書公開手続きを用いて調査し、結果を報告してきた[2][3]。情報科では、臨時免許状や免許外教科担任が、特例的という枠を超えて多用され、さらに、他の教科に比べて、突出して件数が多い状況であることが明らかになっている。

さらに、筆者らは、文部科学省への公文書公開手続きにより2017年度の中学校・高等学校の免許外教科担任の状況を調査した[4]。その結果、中学校では技術・家庭科が、高等学校では情報科が、他の教科に比べて免許外教科担任が突出して多用されていることが、改めて明らかになった。

2. 2017年度の免許外教科担任の許可の状況

表1は、2017年度の中学校教科の免許外教科担任の数を示したものである。47都道府県の合計では、全教科の6,821件中、技術は2,031件、家庭は2,082件であり、技術・家庭科で60.3%を占めている。表2、表3は、2017年度の技術科、家庭科を担当する免許外教科担任の保有免許状の教科ごとの数を示したものである。免許外教科担任で保健体育、数学、理科の教員が技術科を担当する

ことが多く、音楽、技術、国語の教員が家庭科を担当することが多い状況である。

表4は、2017年度の高等学校教科の免許外教科担任の数を示したものである。47都道府県の合計では、全教科の3,106件中、情報科は1,161件であり、37.4%を占めている。表5は、2017年度の情報科を担当する免許外教科担任の保有免許状の教科ごとの数を示したものである。数学、理科、商業の教員が、免許外教科担任で情報科を担当することが多い状況である。一方で、福島県、石川県、長野県のように情報科を担当する免許外教科担任の許可件数が多い県においては、国語、音楽、美術、保健体育、外国語など、情報の科学的な理解との関係性が薄い教科の教員が、免許外教科担任で情報科を担当することが多い状況である。

大学入試では、「情報Ⅰ」だけでなく「情報Ⅱ」の内容まで含めて出題がされることが望ましいと考えられる。各高等学校で「情報Ⅰ」と「情報Ⅱ」とを開講し、生徒が情報の素養を身につけられるようにする、そして、大学入試で情報の素養が身につけられているか測られるようになると、高等学校情報科の重要度がさらに増してくる。情報学全般について幅広い知識や技術をもつ情報科専任教員の配置が求められている。

参考文献

- (1) 笈捷彦, 中山泰一: 情報入試のすゝめ, 情報処理, Vol.59, No.7, pp.632-635 (2018).
- (2) 中山泰一ほか: 高等学校情報科における教科担任の現状, 情報処理学会論文誌「教育とコンピュータ」, Vol. 3, No. 2, pp.41-51 (2017).
- (3) Y. Nakayama, et al.: Current Situation of Teachers of Informatics at High Schools in Japan, Olympiads in Informatics, Vol.12, pp.177-185 (2018).
- (4) 中山泰一: 中学校・高等学校の免許外教科担任の現状, 電子情報通信学会技術報告, Vol.118, No.345, pp.51-58 (2018).

表1 中学校教科の免許外教科担任の件数(2017年5月1日時点)

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	家庭	外国 語	合計
北海道	12	12	13	7	17	183	39	310	328	1	922
福島県	5	5	4	3	1	48	3	184	103	1	357
千葉県	13	11	29	10		62	8	115	76	8	332
全国	297	269	412	202	70	929	349	2031	2082	180	6821

表2 中学校技術科を担当する免許外教科担任の保有免許状別人数(2017年5月1日時点)

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	家庭	外国 語	その 他	合計
北海道	21	32	30	43	46	30	73	17	16	2	310
福島県	4	15	112	18	2	4	20	4	5		184
千葉県	4	12	18	25	4	5	36	6	5		115
全国	92	259	381	351	94	153	457	145	91	8	2031

表3 中学校家庭科を担当する免許外教科担任の保有免許状別人数(2017年5月1日時点)

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	外国 語	その 他	合計
北海道	32	18	13	14	125	23	24	47	30	2	328
福島県	13	4	7	6	37	10	9	10	7		103
千葉県	10	3	2	3	22	8	20	2	6		76
全国	290	87	112	105	626	149	176	316	214	7	2082

表4 高等学校教科の免許外教科担任の件数(2017年5月1日時点)

	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	情報	工業	外国 語	合計
北海道	2	24	28	8	3	2	3	2	74	3	8	227
福島県		5	7	4	1			5	57	4	6	117
茨城県		2	15	1	1				52	1		88
新潟県		11	24	2	1			1	83	4	2	144
石川県		5	14	2	1				80	30	5	175
長野県	2		8	2	3			1	128	3	5	182
全国	13	177	356	42	24	9	15	59	1161	346	127	3106

表5 高等学校情報科を担当する免許外教科担任の保有免許状別人数(2017年5月1日時点)

	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	工業	商業	外国 語	合計
北海道	2	8	10	6	4		1	1	3	34	2	74
福島県	4	3	4	9	11	2	1	2		13	4	57
茨城県	1			28	7			3	1	9	2	52
新潟県			1	23	17			2		24	1	83
石川県	4	9	6	10	15	3	4	5	2	9	2	80
長野県	12	12	3	21	22	9	12	9		12	8	128
全国	38	65	41	256	193	34	35	43	34	282	43	1161